



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	34,818.27	139.92	0.40	-0.12	-4.18	36,338.30
NASDAQ	14,261.50	40.98	0.29	0.65	-8.84	15,644.97
日経225	27,665.98	-155.45	-0.56	-1.72	-3.91	28,791.71
上海総合	3,282.72	30.51	0.94	2.19	-9.81	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,276.16	53.56	1.27	2.43	-13.44	4,940.37
ハンセン	22,039.55	42.70	0.19	2.97	-5.80	23,397.67
中国企業	7,537.16	11.27	0.15	3.48	-8.49	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.0%高と反発、上海総合指数は2.2%高

香港市場ではハンセン指数が3.0%高と反発。週初は上海の都市封鎖を嫌気した売りが先行したが、売り一巡後は持ち直す展開となった。ウクライナ情勢や会計監査を巡る米中対立が警戒された半面、中国の景気刺激策への思惑買いが相場を支えた。決算発表のピークを迎え、業績を手掛かりとする個別物色も活発だった。本土市場では上海総合指数が2.2%高と6週ぶりに反発。3月の製造業PMIが50割れとなり、景気の先行きに警戒感が広がったが、逆に中国政府による景気対策への期待が相場を支える展開となった。

今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、コロナやウクライナ情勢に引き続き警戒

香港市場は5日が清明節で休場のため4日間の取引。会計監査を巡る米中対立は中国側の譲歩で緩和が見込まれるものの、中国での新型コロナ新規感染者の急増やウクライナ情勢に対する警戒感が上値を押さえそう。総じて強い米雇用統計の発表を受けて米国の利上げペース加速も警戒されそうで、7日に公表されるFOMC議事要旨に注目が集まる。本土市場は4-5日が清明節で休場のため3日間の取引。新型コロナ感染の急増や都市封鎖で景況感が悪化しており、景気刺激策への思惑から底堅い展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 美团(03690)	155.50	15.19
2 農夫山泉(09633)	43.60	13.99
3 海底撈国際(06862)	14.86	11.23
4 阿里健康(00241)	4.97	9.23
5 シバック(00386)	4.00	7.82
6 碧桂園(02007)	5.86	7.33
7 万洲国際(00288)	5.02	7.04
8 吉利汽車(00175)	12.38	6.91
9 CNOOC(00883)	10.94	6.63
10 BYD(01211)	225.20	6.43

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬(01177)	4.50	-7.02
2 小米集団(01810)	13.78	-4.44
3 石業集団(01093)	8.84	-2.96
4 ホンコン・チャイナス(00003)	9.45	-2.78
5 中国蒙牛乳業(02319)	43.00	-2.60
6 恒基兆業地産(00012)	32.90	-2.08
7 香港証券取引所(00388)	366.00	-2.03
8 中国海外発展(00688)	23.15	-1.91
9 新鴻基地産(00016)	94.50	-1.31
10 チャイ・モバイル(00941)	54.50	-1.00

▼今週の主なイベント

- 4月4日(月)
- 【中国】清明節で休場(～5日)
- 4月5日(火)
- 【香港】清明節で休場
- 【米国】ISM製造業景況指数(3月)
- 4月7日(木)
- 【米国】FOMC議事要旨

▼今週の期待材料

- ◆米国に上場する中国企業の監査問題で中国証券当局が譲歩姿勢、監査問題を巡る米中対立が緩和へ
- ◆香港で電子消費券の分割支給を開始、7日から18歳以上の市民に第1弾として5000HKドルを支給
- ◆中国の景況感悪化で政府による刺激策への期待高まる、政策金利や預金準備率の追加引き下げの可能性も

▼今週の懸念材料

- ◆ウクライナ情勢に対する警戒が続く公算、ロシア寄りの姿勢を示す中国に2次制裁のリスク高まる
- ◆中国で無症状を含めた新型コロナの新規感染者が1万人超え、上海での都市封鎖で経済に大きな打撃
- ◆1日発表の3月の米雇用統計が総じて強い結果に、5月の次回FOMCで0.5%の利上げの可能性強まる

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント(00700)：自社株買いを継続、3月末までの累計は発行済み株式の0.15%
- ☆ ペトロチャイナ(00857)：22年の原油・天然ガス生産目標は3%増の16.7億バレル
- ☆ CNOOC(00883)：1-3月期決算は62-89%増益の見通し、A株発行を当局が承認
- ☆ BYD(01211)：3月の新車販売台数は2.6倍に拡大、ガソリン車生産から3月で撤退
- ☆ 美図(01357)：呉CEOが100万株買い増し、今後の買い増し継続も示唆
- ☆ 理想汽車(02015)：「理想ONE」の3月の納車台数が125%増加、1-3月は152%増
- ☆ 万科企業(02202)：不動産管理子会社の香港分離上場計画、3月末に香港証取に申請
- ☆ 蔚来集団(09866)：3月のEV納車台数が38%増加、1-3月は29%増
- ☆ 小鵬汽車(09868)：3月のEV納車台数が3倍に拡大、1-3月は159%増
- ★ 海底撈国際(06862)：都市封鎖で飲食業界に打撃、21年本決算は赤字転落

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。